

第 21 回 TFD セミナー

樋口千恵子先生、塚田三佐緒先生の両先生の当番世話人のもと 2017 年 3 月 7 日にフクラシア東京ステーションで開催されました。今回は、東京女子医科大学の花房規男先生の特別講演と東京女子医科大学の若山慈恵先生、東京慈恵医科大学の田中舞先生からの一般演題 2 題の発表を拝聴しました。



若山先生からは、腹膜透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に対するシナカルセット投与症例での残存腎機能と血清 Ca ならびに Pi 値の推移の検討を学術的考察を含め発表いただきました。残存腎機能の程度によって、シナカルセットの血清 Ca 値、Pi 値への影響が異なることの説明をいただき大変興味深い発表でした。田中先生は、腎生検で IgA 腎症と診断されその後 2 度目の腎生検を実施した症例の臨床経過から急性増悪群と緩徐進行群の 2 群間の臨床的・組織学的所見の相違を発表いただきました。安定した状態から急に悪化した急速増悪群では、病理学的所見として半月体形成を認めることが多く、一方の緩徐進行群（血清クレアチニン値が上昇や蛋白尿の増加の精査のための腎生検）の病理所見としては全節性硬化の糸球体や間質の線維化が目立ち、臨床的には高血圧合併例が多い傾向との報告でした。IgA 腎症の再燃と腎症での common pathway の悪化の臨床所見と病理所見を結びつける有益な情報でした。

特別講演の花房先生は J-DOPPS の主要メンバーであり、先生からは DOPPS の情報をもとに透析患者の貧血管理の多様性、特に性差と高齢者に焦点を当ててお話いただきました。特に高齢者透析患者集団の不均一性は、他の年齢群に比較して多用であり、多様性の要素が腎不全の原疾患にとどまらず合併症や、運動機能、栄養状態と多岐にわたり、貧血管理のみならず全身管理を行うことで予後を改善しうるとのご指摘、大変勉強になりました。

昭和大学北部病院の衣笠えり子先生の opening remarks に始まり、和やかなセミナーは次回 3 月の再開を約束して閉会となりました。

現在東京 TFD セミナーは、以下の世話人の先生方で運営されています。会を重ね交流の輪が広がり、セミナーの後仲良しグループでの交流会も催されています。

(文責 濱田)

TFDを支える顧問・代表世話人、世話人の先生方です。

氏名	施設名
原 茂子	原プレスセンタークリニック
大坪 公子	三軒茶屋病院
衣笠 えり子	昭和大学横浜市北部病院
渋谷 祐子	NTT 東日本関東病院
小倉 明子	森山記念病院
濱田 千江子	順天堂大学順天堂医院
二ツ山 みゆき	聖路加国際病院
石塚 史乃	済生会川口総合病院
田中 好子	新宿石川クリニック
高木 由利	織本病院
樋口 千恵子	東京女子医科大学東医療センター
塚田 三佐緒	東京女子医科大学病院
森 典子	静岡県立総合病院
松尾 七重	東京慈恵会医科大学病院
日高 寿美	湘南鎌倉総合病院
平松 里佳子	虎ノ門病院
若井 幸子	東京都立大久保病院
吉川 憲子	東京医科大学八王子医療センター

首都圏でご勤務を検討の際に大変お力添えいただける方ばかりです。